

# 工事写真記録作成要領

2018年4月1日 制定

大阪市高速電気軌道株式会社  
鉄道事業本部 工務部

# 目 次

1	適用範囲	3
2	工事写真集の分類	3
3	分類内容	3
	（1）工事完成調書	3
	（2）工種別写真集	3
	（3）工事写真集	4
	（4）その他	4
4	工事写真集の撮影基準	4
	（1）撮影頻度	4
	（2）撮影方法	4
	（3）写真の色彩	5
	（4）写真の大きさ	5
	（5）工事写真帳の大きさ	5
	（6）工事写真の提出部数及び形式	5
	（7）電子媒体	6
	（8）電子媒体の表記規則	6
	（9）工事写真の整理方法	7
	工事写真帳表題（様式No.1-1）	8
	工事写真帳策引（様式No.1-2）	9
5	工事写真撮影基準一覧表	10
	（1）共通	10
	（2）開削工事	12
	（3）シールド工事	15
	（4）地下工事	16
	（5）高架工事	17
	（6）軌道工事	18
	撮影標準参考図面	20

## 1 適用範囲

この工事写真記録作成要領は、土木工事標準仕様書第1編第1章1-29工事写真に定める工事写真撮影に適用する。

## 2 工事写真の分類

工事写真は次のように分類し、整理する。

- |            |   |  |
|------------|---|--|
| (1) 工事完成調書 | ア 工事完成調書写真                              | (ア) 工事着手前・完成後の道路状況写真<br>(イ) 埋設物の復旧写真<br>(ウ) 鋼杭・鋼矢板等切断状況写真<br>(エ) 完成時の舗装構造厚調査写真 |
| (2) 工種別写真集 | ア 施工状況の写真<br>イ 材料試験、品質管理写真<br>ウ 出来形管理写真 | (ア) 施工状況<br>(イ) 安全管理<br>(ア) 目的構造物の出来形<br>(イ) 材料検収<br>(ウ) 工事完成                  |
| (3) 工事写真集  | 施工順序写真                                  |  |
| (4) その他    | 参考写真                                    |  |

## 3 分類内容

### (1) 工事完成調書

#### ア 工事完成調書写真

主に、道路管理者及び埋設物管理者に提出する目的で撮影する。工事写真撮影基準一覧表に  
ならない、頻度・撮影方向・場所等に十分注意して撮影すること。

- ① 工事着手前・完成後の道路状況写真  
着手前・完成後の道路状況をあらわすもので、工事着手前・完成後の道路状況が対比できること。
- ② 埋設物の復旧写真  
「工事完成時の埋設物状況図」に記入した埋設物の埋戻し状況、受台、防護状況および敷設状況等が管種ごとにわかること。
- ③ 鋼杭・鋼矢板等の切断状況写真  
杭番号を付した鋼杭・鋼矢板等の存置状況がわかるように遠近一対で撮影すること。
- ④ 完成時の道路舗装構造厚調査写真  
車道部・歩道部等、各道路構造別に復旧路盤の厚さが明確に判定できるよう、遠近一対で撮影すること。

### (2) 工種別写真集

#### ア 施工状況の写真

工事着手時・施工中・完成時の写真で、工種毎に進捗に合わせて撮影すること。

- ① 施工状況  
工事の進捗状況、施工状況等をあらわすもので、各施設を含めた道路占用状態や作業方法がわかること。

② 安全管理

安全施設、防護施設、保安施設、工事標識、徐行標識等及び交通誘導員 A・B、通過保守用作業車誘導員の配置・人数の状況がわかること。

イ 材料試験・品質管理写真

標準仕様書及び設計書に品質試験等が必要と定めたものについては、品質の測定状況、試験状況等がわかる写真を撮影すること。なお、材料試験等を公的機関で実施した場合及び品質証明書を保管できる場合は、撮影を省略することができる。

ウ 出来形管理

① 目的構造物の出来形

出来形寸法を判り易く表すこと。特に進捗状況から不可視部分は、箱尺、リボンテープ等を用いよく確認できるよう撮影すること。

② 材料検収

標準仕様書及び設計書に記載している項目で、工事に使用する主材料の数量及び形状等がわかること。

③ 工事完成

完成写真は、工事完成後の全景をあらわす写真と、主要構造物の完成をあらわす部分写真を撮影すること。

(3) 工事写真集

施工順序写真

工事着手から完成までの工事内容及び施工順序等が系統的にわかる写真とし、代表断面を選択し、工種毎に1～2枚程度で編集すること。

(4) その他

参考写真

当初設計と現場に相違等がある場合及び臨機の措置、天災、その他不可抗力による措置、第三者に及ぼした損害等がある場合は、必要に応じて参考写真として撮影しておくこと。

4 工事写真の撮影基準

工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

写真の撮影頻度は、工事写真撮影基準一覧表によること。なお、一覧表に記載されていない工種については類似工種に準じること。

(2) 撮影方法

ア 撮影は、工程の進捗に合わせて実施し、工事内容が明確に判断できるようにすること。

イ 寸法を明確にすべきものは、箱尺・リボンテープ等を用いて測定対象物に正確にあて判読できるようにすること。

ウ 撮影に当たっては、表-1の項目を記載した小黒板を被写体とともに写しこむものとする。ただし、特殊な場合で監督員が指示するものは別とする。

エ 撮影は、デジタルカメラによる撮影を標準とする。ただし、やむを得ない場合には、従来のフィルムカメラによる撮影とすることができる。

オ デジタルカメラの有効画素数は100万画素以上とすること。なお、不必要に大きな画素数を用いず、必要な文字及び数値等の内容が判読できることを指標とする。

カ 軌道工事においては、工事範囲内に撮影位置を決め、同一箇所にて施工過程を同一方向より撮影すること。(距離標の利用も可)

(工種の例)

軌道整正タンピング(3回づき)

※ 同一箇所にて、1回～3回づきまでの施工状況を撮影すること。

評-1

工 事 名	
工 種	
内 容	
場 所	
受注者名	

(3) 写真の色彩

写真は原則としてカラーとする。

(4) 写真の大きさ

ア 写真の大きさはサービスサイズ程度とし、監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

イ 着手前、完成写真等はパノラマ写真(つなぎ写真可)とすることができる。

(5) 工事写真帳の大きさ

写真集に用いる工事写真帳は、4切版のフリーアルバムまたは、A4版アルバムとする。

(6) 工事写真の提出部数及び形式

工事写真の提出部数及び形式は以下のとおりとする。

ア 中間出来高検査時には、整理したものを資料として提出すること。

イ 工事写真として、工事写真帳と原本をまとめ、工事完成時工種別写真集1部、工事写真集を2部提出すること。また、埋設物管理者等への提出部数は監督員の指示した部数とする。

ウ 原本としては、電子媒体を標準とする。ただし、やむを得ない場合はネガ(APSの場合はカートリッジフィルム)とすることができる。

エ 電子媒体の記録画像ファイル形式はJPEG形式(圧縮率1/4まで)を原則とする。

オ 用紙に印刷する場合は、写真専用用紙とし、必要な文字、数値が判読できる機能、精度が確保できるものを用いること。(プリンターはフルカラー300dpi以上、インクは専用のものとする。)

カ 写真は通常の使用条件のもとで5年間程度顕著な劣化が生じないこと。

キ 写真の信憑性を考慮して編集は認めない。

(7) 電子媒体

- ア 電子媒体は、CD-R（一度しか書き込みのできないもの）の使用を原則とし、基本的には、1枚のCD-Rに情報を格納すること。
- イ 特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮して、DVD±Rも監督員との協議により可とする。

(8) 電子媒体の表記規則

ア 電子媒体には、以下の情報を明記すること。

- ① 契約番号
- ② 工事名称（工事写真）
- ③ 工事期間
- ④ 発注者名
- ⑤ 受注者名
- ⑥ 何枚目／総枚数（工事写真がCD-R 2枚の場合、「1／2」、「2／2」と記載）
- ⑦ ウィルスチェックに関する情報

イ 媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には以下のような情報を明記すること。

- ① 工事名称（工事写真）
- ② 受注者名



CD-Rへの表記例

(9) 工事写真の整理方法

工事写真の整理方法は以下のとおりとする。

- ア 工事写真の整理については、様式No.1-1を工事写真帳（透明ビニールによる接着で大きさは4ツ切版または、A4版）に表記すること。また、工事写真を頁ごとに3～4枚貼ることとし、索引には様式No.1-2を台帳の最初のページに付す等して整理し、各写真の下には、次の事項を記入するとともに、撮影場所の判る平面図を工事写真帳に添付すること。

No.
写 真 説 明
撮 影 場 所

- イ 電子媒体で提出する場合は、工種ごとにフォルダーを分類し、各フォルダー内に撮影内容を明記した写真一覧（コマ撮りにしたもの）を添付すること。

また、APSのカートリッジフィルムで提出する場合はカートリッジフィルム内の撮影内容がわかるように明示し、インデックス・プリントとともに提出すること。

提出 <sup>(注1)</sup> 図書名		年 月 日
No.	大阪市高速電気軌道株式会社 様 <sup>(注2)</sup>	
工 事 名 称		受注者名
		現場代理人氏名 印
受 注 者 名	提出図書名 <sup>(注1)</sup> ( 工 種 )	
	工事名称	
完 成 日	工事期間	年 月 日から 年 月 日まで
	着手日	
年 年		
月 月		
日 日		

注1：工種別写真集または、工事写真集を記載すること。

注2：宛名については、監督員の指示により土木工事事務所長、保線管理事務所長のいずれかを記載すること。



5. 工事写真撮影基準一覧表

(1) 共通

工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事	
着 手 前 ・ 完 成 後	着 手 前 ・ 完 成 後 の 現 場 状 況	工 事 着 手 前 ・ 完 成 後 の 現 場 (道 路) 状 況	2 0 m 間 隔 、 工 区 前 後 5 0 m 含 む	20m間隔、20mに満たない場合には、工事範囲全景。道路占用時には工事占用範囲およびその前後テープー長が見込まれる範囲を工事着手前・完成後適宜	全 景 位 置 図 添 付  工 事 範 囲 が 点 在 す る 場 合 に は 、 施 工 全 箇 所 を 撮 影 す る こ と
		工 事 着 手 前 ・ 完 成 後 の 沿 道 状 況	工 事 着 手 前 ・ 完 成 後 適 宜	工 事 着 手 前 ・ 完 成 後 適 宜	
		重 要 構 造 物 (橋 梁 、 鉄 道 、 河 川 等)			
		工 事 用 用 地 (特 に 貸 与 の 場 合) 現 状			
		路 面 交 通 の 状 況 が 判 断 で き る も の			
	工 事 に よ り 撤 去 ま た は 形 状 が 変 わ る も の				
	道 路 付 属 物	設 置 状 況 、 撤 去 物 の 移 設 ・ 保 管 状 況	移 設 ・ 保 管 物 件 別 ・ 箇 所 別	移 設 ・ 保 管 物 件 別 ・ 箇 所 別	
建 設 廃 棄 物	産 業 廃 棄 物	種 類 お よ び 発 生 場 所 (泥 水 ・ モ ル タ ル プ ラ ン ト 等)	発 生 時 廃 棄 物 の 種 類 ・ 処 理 種 別 、 お よ び 処 分 場 が 異 な る 毎	発 生 時 廃 棄 物 の 種 類 ・ 処 理 種 別 、 お よ び 処 分 場 が 異 な る 毎	中 間 ・ 最 終 処 分 地 の 名 称 ・ 場 所 ・ 時 期 が 判 別 出 来 る よ う 撮 影 す る
		埋 設 状 況 (転 石 、 木 屑 ・ ゴ ミ 等)			
		積 込 み ・ 運 搬 状 況 (追 跡 写 真) ・ 荷 卸 し			
		中 間 ・ 最 終 処 分 地 の 全 景			
安 全 管 理		各 種 標 識 類 、 保 安 施 設 の 設 置 状 況	各 1 回	実 施 毎	
		保 安 要 員 (交 通 誘 導 員 A ・ B 、 通 過 保 守 用 作 業 車 誘 導 員) 等 配 置 状 況 (占 用 形 態 ご と の 配 置 状 況)			
		安 全 教 育 訓 練 、 イ メ ー ジ ア ッ プ 等			
		構 内 換 気 ・ 照 明 ・ 通 路 ・ 点 検 通 路 等			
		緊 急 通 報 設 備 、 緊 急 資 材 置 場 等 、 危 険 物 保 管 状 況			
全 体	道 路 占 用 写 真	道 路 占 用 状 況		占 用 形 態 毎	
	進 捗 状 況 写 真	工 事 の 進 捗 状 況	工 種 毎	工 種 毎	
	完 成 写 真	地 上 全 景 、 構 内 全 景 、 着 手 時 と 完 成 時 の 比 較 写 真	完 成 時	完 成 時	
そ の 他		現 場 事 務 所 ・ 宿 舎 ・ 資 機 材 置 場 等	箇 所 別	箇 所 別	全 景

(2)開削工事					
工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事	
準 備 工	試 掘	埋設物の種類・位置・規格・構造・老朽度 土被り等状況、既設舗装構造	物件別・箇所別、 全 箇 所	物件別・箇所別、 全 箇 所	位置図添付
	歩道・分離帯切削	施工状況	施 工 前 ・ 後	施 工 前 ・ 後	
	道路施設物移設	施工状況			
鋼 杭 ・ 鋼 支 柱 工 鋼 矢 板 工 鋼 管 矢 板 工 ソイルセメント壁工	布掘およびつぼ掘	幅、深さ(地下埋設物の種類、位置寸法等)	布掘およびつぼ掘延 長 5 0 m 毎	工 種 毎	掘削構内より撮影
	杭 ・ 矢 板 打 ち	杭打ち機組立・解体	施 工 中	施 工 中	
		さっ孔および建込み状況、杭長、杭形状 および継手状況、プラント設備等	延 長 5 0 m 毎	工 種 毎	
	計 測 装 置	計測機器の設備状況			
出 来 形	鋼杭・鋼支柱工の施工精度				
鋼 杭 ・ 鋼 矢 板 等 頭 部 撤 去 工	切 断	切断状況(切断位置、切断長、杭番号)	1 0 0 本 毎	1 0 0 本 毎	
	撤 去	撤去状況、撤去深さ、撤去品の形状寸法			
地 下 連 続 壁	ガイドウォール	設置状況	延 長 5 0 m 毎	工 種 毎	
	掘 削	掘削機械および安定液設備、泥水分離状況			
	鉄 筋 カ ゴ	配筋、寸法 建込み・継手施工状況			
	コ ン ク リ ー ト	打設状況および品質管理			
	計 測 装 置	計測機器の設備状況			
	泥 水 管 理	安定液設備、泥水分離状況・仮置場状況			
出 来 形	不連続部、土留支保工	掘 削 完 了 時	掘 削 完 了 時	掘削構内より撮影	
路 面 覆 工	桁 受 材 ・ 受 桁	取付状況	1 , 0 0 0 m <sup>2</sup> 毎	工 種 毎	
	覆 工 板	架設状況			
	在来路面との取付	取付状況	適 宜	適 宜	
	開口部の保安施設	設置状況			
出 来 形	工区全景				
薬 液 注 入 工	着 手 前	路面状況、近接家屋状況	施 工 前	施 工 前	
	さ っ 孔	さっ孔状況、さっ孔機械稼働状況	適 宜	適 宜	
		さっ孔長確認(ロッド長さ)			
	注 入 時	注入状況および注入設備稼働時状況	適 宜	適 宜	全 景
効 果 確 認	試験注入、現場透水試験(ケーシング法)、 揚水試験、標準貫入試験(砂質土)、 一軸圧縮試験又は三軸圧縮試験(粘性土)	確 認 時 適 宜	確 認 時 適 宜		

工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事	
高圧噴射地盤改良工	着 手 前	路面状況、近接家屋状況	施 工 前	施 工 前	
	さ っ 孔	さっ孔状況、さっ孔機械稼働状況	適 宜	適 宜	
		さっ孔長確認(ロッド長さ)			
	注 入 時	注入状況および注入設備稼働時状況	適 宜	適 宜	全 景
効 果 確 認	現場透水試験(ケーシング法)、揚水試験、コアボーリング、一軸圧縮試験又は三軸圧縮試験	確 認 時 適 宜	確 認 時 適 宜		
土 留 板 工	普 通 部	施工状況	施 工 中 適 宜	施 工 中 適 宜	
	特 殊 部	土留形状寸法・使用部材等	施 工 後 形 状 毎	施 工 後 形 状 毎	
土 留 支 保 工	架 設	架設状況、形状寸法、架設間隔、裏込状況	適 宜	適 宜	
	土 圧 管 理	軸力計の設置状況			
	撤 去	撤去および盛替状況			
土 工	掘 削	掘削状況(人力、機械掘削別、土質および湧水状況、地盤改良箇所)	各 施 工 別 適 宜	各 施 工 別 適 宜	全 景
	土 揚 設 備	設置状況および土揚・積込状況	設 備 別	設 備 別	
	補 助 工 法	設備設置状況および施工状況			
	構 内 排 水	排水処理状況	適 宜	適 宜	
	地 中 障 害 物	転石・旧人孔等	発 生 時	発 生 時	
	土 砂 処 分	積込み状況、土捨場状況(自由処分)	処 分 地 別 、 仮 置 場 別	処 分 地 別 、 仮 置 場 別	処分地の名称・場所 が判別できるよう
	敷 付 け	敷付け状況	施 工 中 適 宜	施 工 中 適 宜	
	側 部 埋 戻 し	施工状況	施 工 中 適 宜	施 工 中 適 宜	
	直 上 部 埋 戻 し	施工状況			
	締 め 固 め	施工状況			
埋 設 物 等 防 護 お よ び 復 旧	防 護	吊り防護、特殊防護施工状況	形 状 別	形 状 別	
	復 旧	受台等の状況、吊り材撤去状況			
	埋 戻 し	埋設物周りの埋戻し状況	底 部 埋 戻 し 完 了 時	底 部 埋 戻 し 完 了 時	
	協 議 関 係	埋設物会議状況			
	材 料 搬 入 口	存置物件の撤去深さの確認状況	施 工 中 適 宜	施 工 中 適 宜	
	レール搬入口				
	ディープウェル				
水質観測井等					

工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事	
軀 体 構 造 物	基 礎 工	敷付け面の状況、打設状況、厚さ	施 工 前 ・ 中	施 工 前 ・ 中	代表断面数を定め 基礎工～上床版防 水完了まで順次撮 影
	防 水 工	下地処理	施 工 後	施 工 後	
		一般部・特殊部(隅角部、中間支柱部、切梁埋殺部等) 施工ジョイント部の施工状況等	施 工 後	施 工 後	
	鉄 筋 組 立	鉄筋組立状況(下床、中床、上床、側壁毎)	施 工 中 、 後	施 工 中 、 後	代表断面数を定め 下床版～保護コン クリート完了まで順 次撮影
	軀体コンクリート	打設状況(下床、中床、上床、側壁毎)			
	保護コンクリート	打設状況、厚さ			
既設構造物撤去工	人 力 は っ り	施工状況	施工中・施工後適宜	施工中・施工後適宜	
	コアボーリング				
	ウォールソー				
	ワイヤーソー				

(3)シールド工事					
工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事	
シールドマシン	製 作	工場仮組立状況	実 施 毎 適 宜	—	
	搬 入 ・ 組 立	搬入・現場組立状況・試運転状況	実 施 毎 適 宜	—	
作業基地および 後続基地等	作 業 基 地	作業基地着手前状況・整地完了状況	着 手 前 ・ 完 了 後	—	
	反 力 受 け 設 備	各種設備・撤去状況および稼動	施 工 中 設 備 適 宜	—	
	電 力 設 備				
	中 央 制 御 管 理 室				
	排 土 処 理 設 備				
	各 種 プ ラ ン ト 設 備				
セグメント製作	型 枠 ・ 鉄 筋 組 立		実 施 毎 適 宜	—	
	コ ン ク リ ー ト 打 設				
	養 生 ・ 仮 組 立				
	載 荷 試 験				
	中 詰 コ ン ク リ ー ト				
	継 手 金 物				
	積 込 状 況				
掘 進	発 信 ・ 到 達	発信設備、発進・到達部対策	施 工 中	—	巻厚確認
	掘 進	掘進状況、Uターン・架台状況・軌道設備	施 工 中	—	
	ズ リ 処 分	構内排土	開削編土工・ 建設廃棄物に準じる	—	
一 次 覆 工	セ グ メ ン ト	製作状況、搬入状況、仮置状況、組立状況	セグメント種別 または250m毎	—	
	特 殊 部	急曲線部・河底部、重要構造物近接		—	
	始 ・ 終 端 部	鉄筋組立状況、コンクリート打設状況	実 施 毎 適 宜	—	巻厚確認
	シ ー ル ド 解 体	解体状況	実 施 毎 適 宜	—	
裏込注入工	注 入 設 備	稼動状況	施 工 中 適 宜	—	
防 水 工	シ ー ル 工 ボルト孔防水	施工状況	施 工 中	—	
	発進・到達部防水	防水状況		—	
構内コンクリート	イ ン バ ー ト 部	配筋状況、型枠、型枠支保工	施 工 中	—	
	歩 廊 部			—	

(4) 地下工事					
工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事	
構 造 物 補 修 工	止 水 注 入 工 法 A (ウレタン系注入材)	注入状況および注入設備稼働時状況および効果確認	—	適 宜	
	止 水 注 入 工 法 B (C) (ポリエチレングリ コール系注入材)				
	底床注入工法	止水バルブ設置・撤去状況、ポンプ室流入確認状況			
導 水 工	漏 水 箇 所 調 査	漏水箇所の調査状況、付着物除去状況	—	適 宜	
	桶 設 置	桶設置状況、桶接続状況			
地下構造物改良工	は っ り 落 と し	はつり落とし状況、鉄筋かぶり状況	—	施 工 中 ・ 施 工 後 適 宜	
	断 面 修 復	モルタル塗布、吹付け状況、防錆材塗布状況			
	保 護 被 覆	ケレン状況、防錆材塗布、被覆状況			
	ひ び 割 れ 注 入	注入状況、圧管理状況			
	剥落防止ネット設置	剥落防止ネット設置状況			
中間支柱跡改良工	タ イ プ 1	モルタル撤去状況、ケレン状況、防錆・被覆材塗布状況	—	施 工 中 ・ 施 工 後 適 宜	
	タ イ プ 2	下地処理状況、ステンレス板設置状況	—		
埋設排水管交換工	排 水 管 交 換	事前調査状況、勾配確認状況、管路継手状況、人孔接続状況(内外共)、管交換状況	—	施 工 中 ・ 施 工 後 適 宜	
マンホール補修工	マンホール補修	補修状況、嵩上げ状況	—	施 工 中 ・ 施 工 後 適 宜	

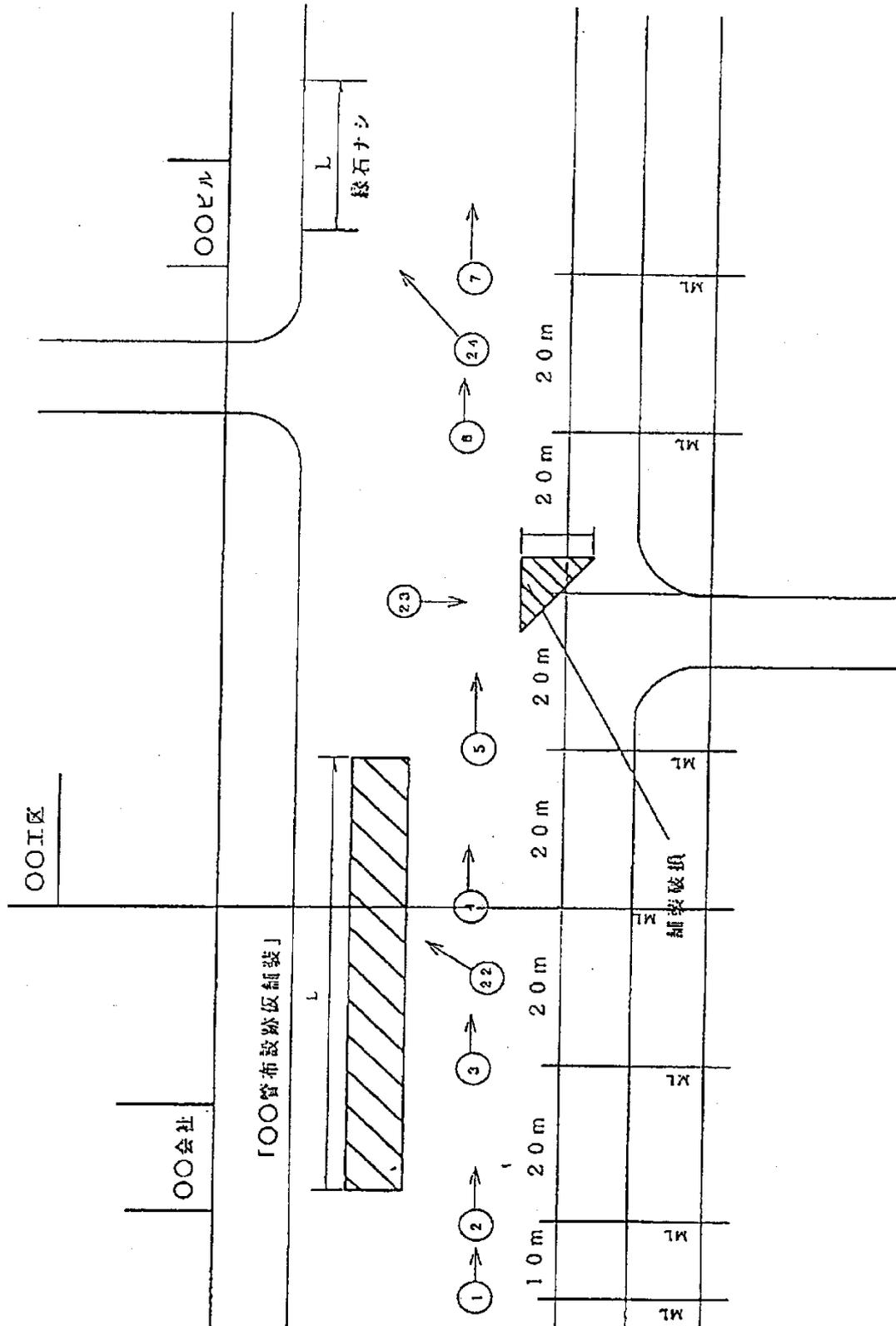
(5) 高架工事					
工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事	
高架構造物改良工	防 錆 処 置	ケレン・防錆材塗布状況	—	施工中、施工後適宜	足場撤去後不可視となる 工事出来形は写真により 確認できるよう撮影する こと。
	断 面 修 復	はつり落とし状況、鉄筋かぶり状況、断面修復材充填状況	—		
	保 護 被 覆	被覆箇所表面清掃状況、 塗膜下塗りおよび中塗り、上塗り状況	— —		
塗装塗替工	材 料	材料搬出入・貯蔵状況	—		
	素 地 調 整	ケレン状況、塩分付着状況	—		
	塗 装	下塗りおよび中塗り、上塗り状況	—		
	塗 膜 厚 管 理	塗膜厚測定状況(測定は同一箇所を一連で撮影)	—	実 施 毎 適 宜	
	塗 装 記 録	塗装記録表示状況	—	完 成 時	
足 場 架 設 工	足 場 架 設	設置、撤去状況	—	着 手 前 、 後 適 宜	
	防 護 工	防護設置状況	—		
	上 り 栈 橋 工	設置、撤去状況	—		
橋 梁 改 良 工	鋼 構 造 物 製 作	防錆材塗布状況、製作および組立状況	—	施工中、施工後適宜	
	改 良 ・ 補 修	改良・補修状況	—		
高 欄 被 覆 工	下 地 処 理	下地処理状況	—		
	塗 装	下塗りおよび中塗り、上塗り状況	—		
鳩 侵 入 防 止 ネ ッ ト 設 置 ・ 補 修 工	事 前 調 査	ネット損傷状況、鳩侵入状況	—	着 手 前	
	ネ ッ ト 設 置	ワイヤー・ネット設置状況	—	施 工 中 、 施 工 後 適 宜	
高架排水施設補修工	打 音 検 査	打音検査状況および検査による浮き、剥離等の変状状況	—	適 宜	
	各 部 材 接 続 部 補 修	各部材の接続部における補修状況、補修後	—	実 施 毎 適 宜	
	水 切	水切設置前水垢等除去状況、水切設置及び設置後状況	—		
	シ ー リ ン グ	劣化状況、補修状況	—		

(6) 軌道工事							
工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考		
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事			
軌 道 整 備 工	基 準 点 設 置	基準点設置状況	工種・種別毎に同一箇所、方向より撮影。 工事始末端及び100m間隔、100m以下の場合 は始末端・中間点の3点、 100m以下で工事範囲が 点在している場合には各 箇所毎に1箇所撮影。	工種・種別毎に同一箇所、方向より撮影。 工事始末端及び100m間隔、100m以下の場合 は始末端・中間点の3点、 100m以下で工事範囲が 点在している場合には各 箇所毎に1箇所撮影。			
	軌 道 整 正	軌間整正状況					
	水 準 整 正	水準整正状況					
	通 り 整 正	通り整正状況					
	高 低 整 正	高低整正状況					
	ト ル ク 調 整	締結装置トルク調整状況					
	タ ン ピ ン グ	道床タンピング状況				3回づきなら1～3回各回毎	
	道 床 砕 石 補 充	道床砕石補充状況					
レ ー ル 交 換 工	レール交換準備	レール寸法測定状況					
	継目及び締結装置	解体・組立状況					
	レール撤去・挿入	既設レール撤去・パッド交換、新レール挿入・遊間整正状況					
伸縮継目敷設工	敷 設	伸縮継目敷設状況					
分 岐 交 換 工	分岐器仮組立、 取 卸 し 敷 設	分岐器仮組立、運搬積み込み・積み下ろし、交換準備、分岐器交換状況					
ま くら ぎ 交 換 工	道 床 は っ り 工	道床コンクリートはっり状況					
	ま くら ぎ 撤 去 工	小運搬、砕石掘削、締結装置取外し、まくらぎ撤去状況					
	ま くら ぎ 移 設 工	まくらぎ移設状況、排水柵撤去・復旧状況					
	ま くら ぎ 取 付 工	小運搬、まくらぎ挿入、締結装置取付状況					
	道 床 コ ン ク リ ー ト 工	道床コンクリート打設状況					
橋まくらぎ交換工	落 下 防 護 工	落下防護状況					
防振シート敷設工	防振シート敷設工	砕石予掘、防振シート敷設状況					
レ ー ル 溶 接 工	基 地 溶 接 工	基地溶接状況					
	現 地 溶 接 工	現地溶接状況					

工 種	種 別	撮 影 対 象 及 び 項 目	撮 影 箇 所 及 び 頻 度		備 考				
			新 線 建 設 工 事	改 造 ・ 保 守 工 事					
レール溶接工	溶接部仕上げ	溶接部仕上げ状況	<p>工種・種別毎に同一箇所、同一方向より撮影。  工事始末端および100m間隔、100m以下の場合  は始末端・中間点の3点、  100m以下で工事範囲が  点在している場合には各  箇所毎に1箇所撮影。</p>	<p>工種・種別毎に同一箇所、同一方向より撮影。  工事始末端および100m間隔、100m以下の場合  は始末端・中間点の3点、  100m以下で工事範囲が  点在している場合には各  箇所毎に1箇所撮影。</p>					
	溶接部の表示	溶接部表示状況							
運 搬 工	積 込 み	積込み状況							
	運 搬 、 取 卸 し	運搬、取卸し状況							
	撤 去 ・ 搬 出	レール、まくらぎ、レール付属品等撤去・搬出状況							
中 量 軌 道 案内施設取付部改良	タイプレート取付工	コンクリートさっ孔、アンカー打設、タイプレート取付状況							
	既設コンクリート ブロック 撤 去 工	既設コンクリートブロック撤去状況 撤去跡鋼板面跡ケレン処理及び補修塗装状況							
	案内レール・伸縮継目レール 交換工	案内レール・伸縮継目レール交換状況、案内レール・伸縮継目レールタッチアップ及び塗装状況							
	固定案内板撤去・取付	固定案内板撤去・取付及び根固め充填材補修状況							

工事着手前・完成後現場状況撮影箇所参考図

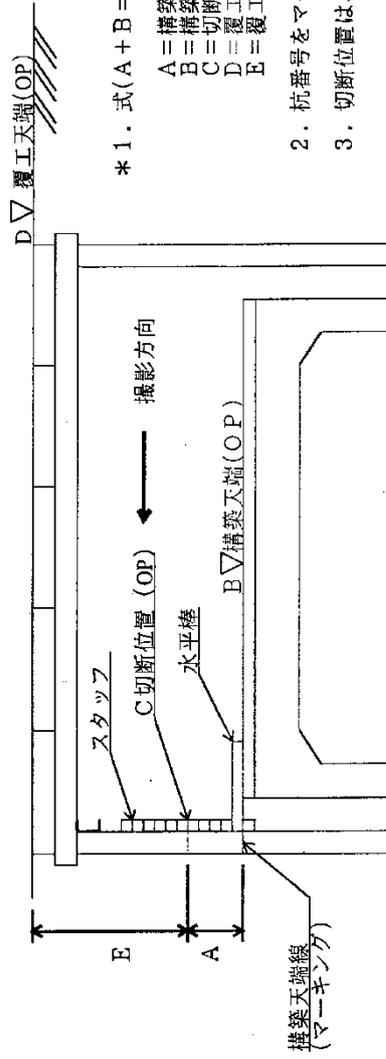
撮影標準参考図面



# 鋼杭、鋼矢板等撤去

## 1. 構築から切断位置までが近い場合

横断図



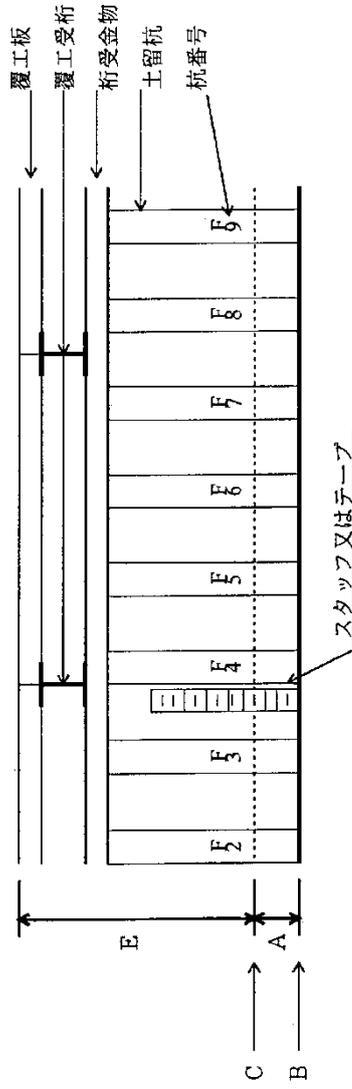
\* 1. 式  $(A + B = C, D - C = E)$  と簡易図を黒板に記入すること。

- A = 構築天端から切断位置までの長さ
- B = 構築天端 (OP)
- C = 切断位置 (OP)
- D = 覆工天端 (OP)
- E = 覆工天端から切断位置までの長さ

2. 杭番号をマーキングすること。

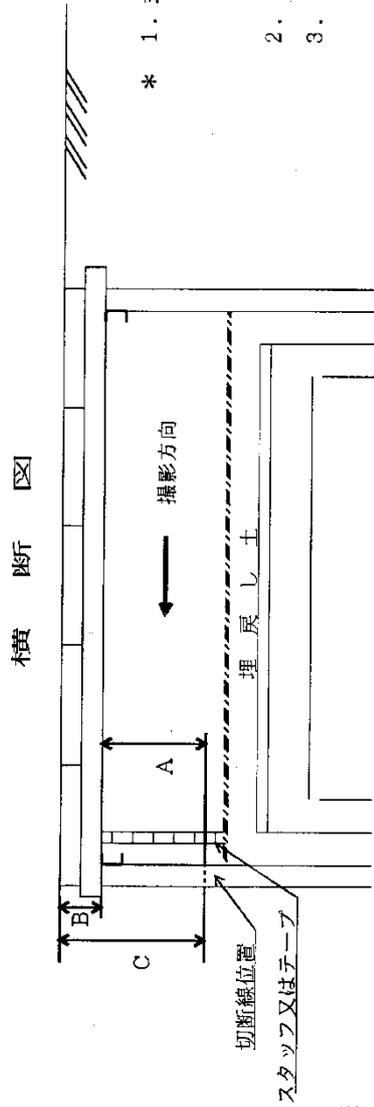
3. 切断位置は、ベンキングする等、明瞭にすること。

縦断図



# 鋼杭、鋼矢板等撤去

## 2. 構築から切断位置が遠い場合

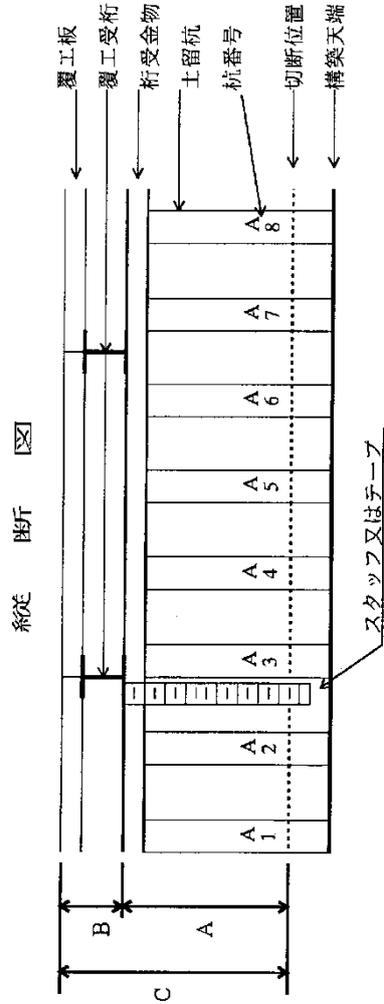


\* 1. 式(A+B=C)と簡易図を黒板に記入すること。

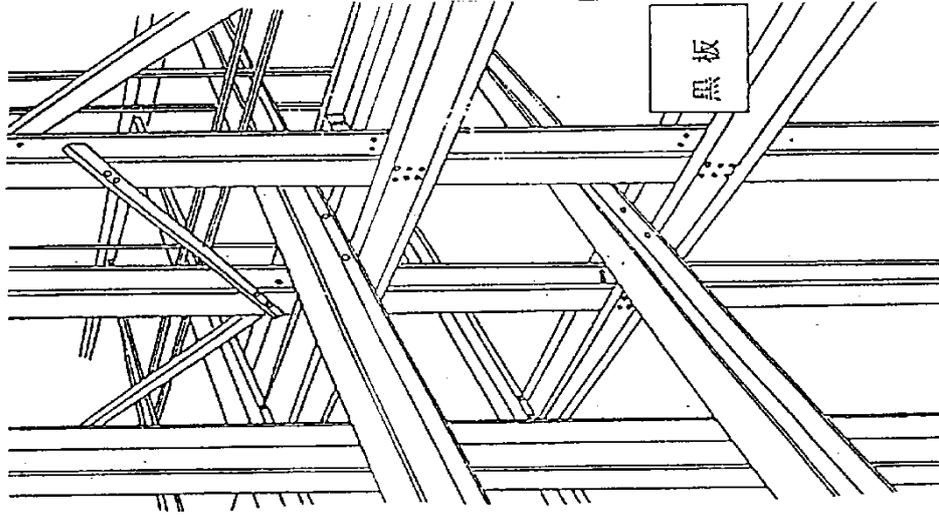
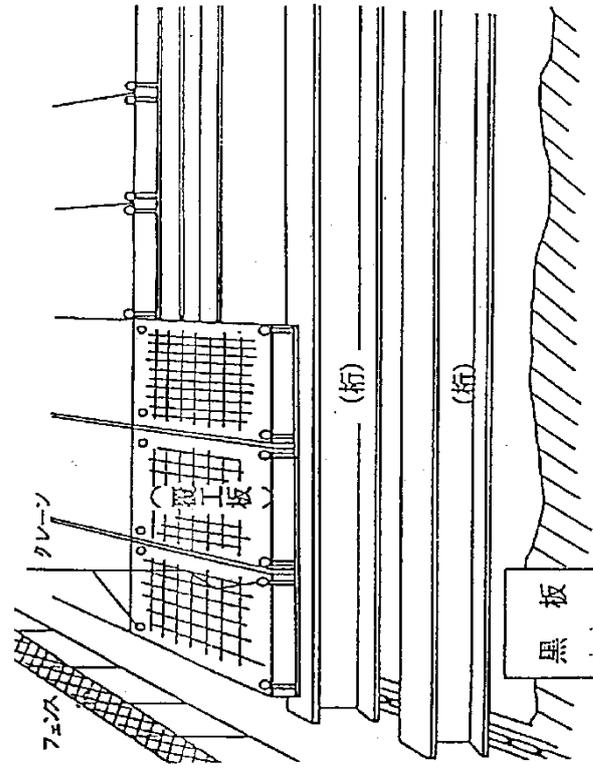
A = 受桁下端から切断位置までの長さ  
 B = 受桁サイズ+覆工板厚さ  
 C = 覆工天端から切断位置までの長さ

2. 杭番号をマーキングすること。

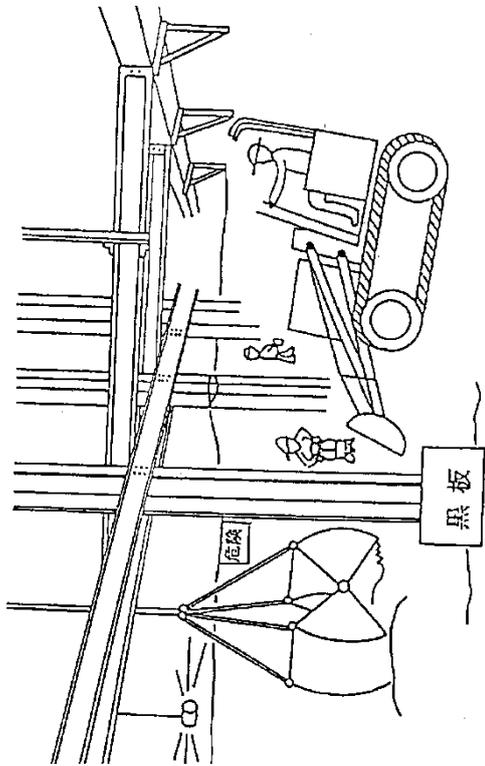
3. 切断位置は、ペンキングする等、明瞭にすること。



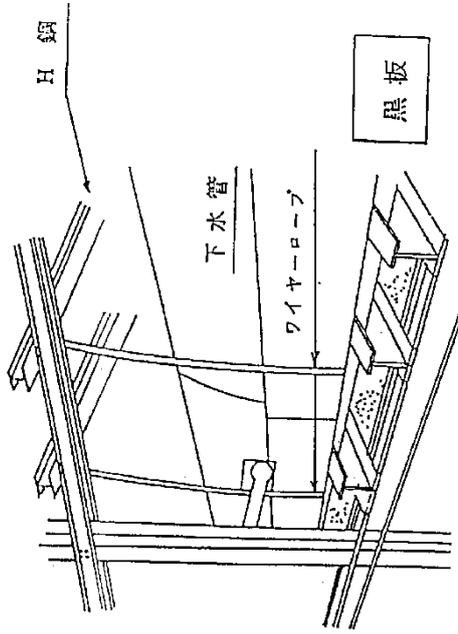
舗板設置工



掘削工

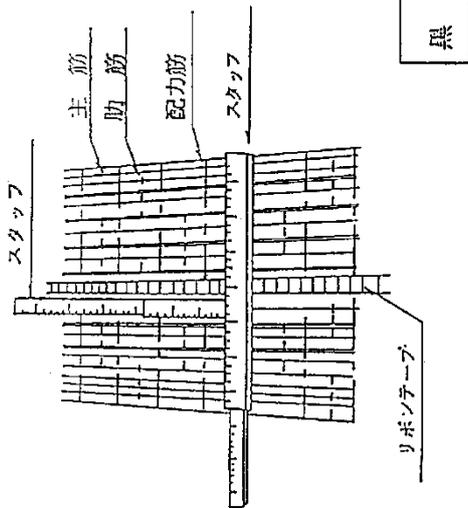


下水管防護工

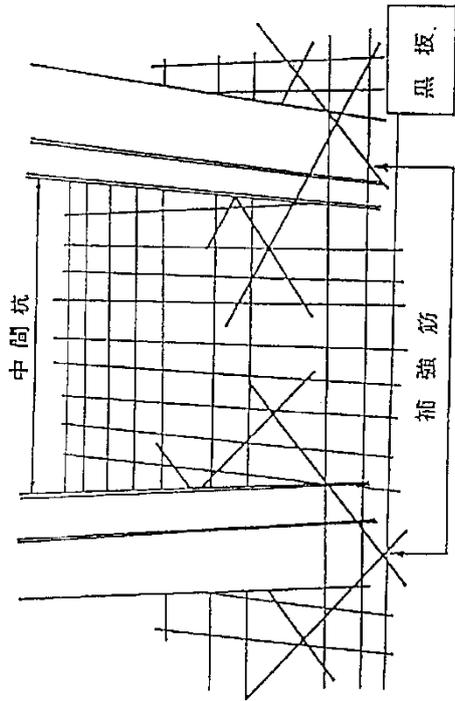


鉄筋工（組立出来形）

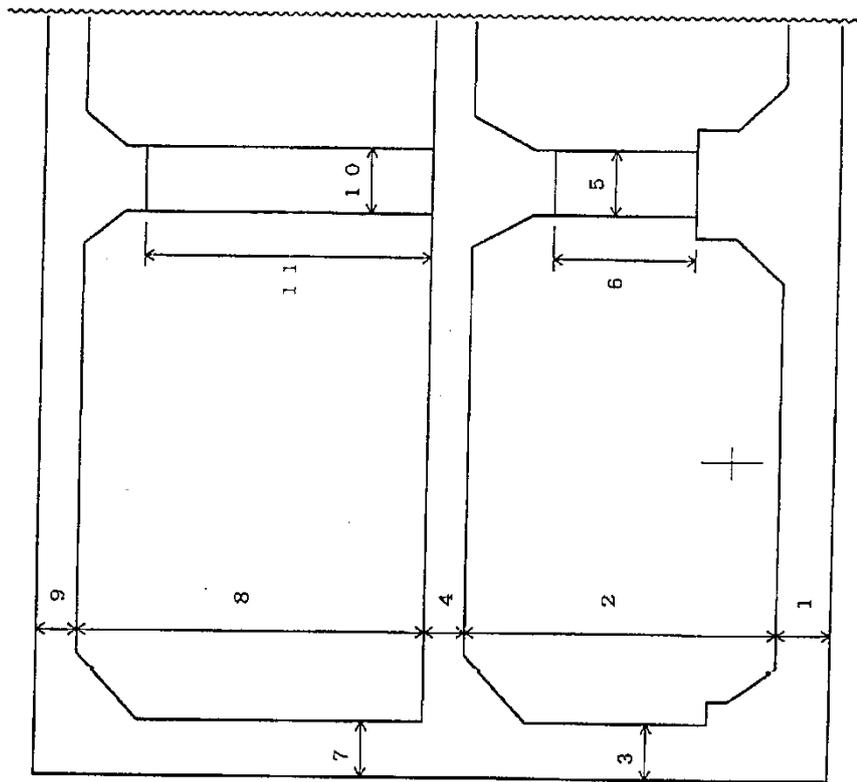
下 床



鉄筋工（補強鉄筋）



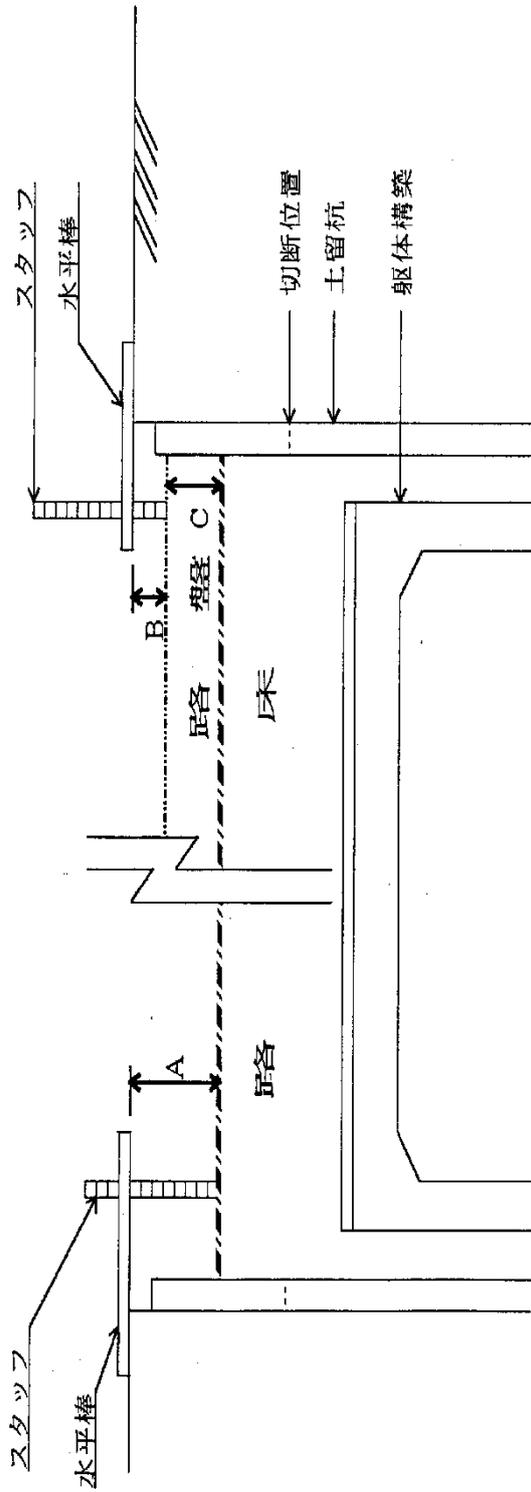
構築出来形撮影箇所



1 ~ 11 = 撮影箇所

\* 特にNo.1, 3, 4, 7, 9については、代表ブロックを決定し工事進捗状況に合わせて撮影し、整理すること。

# 道路仮復旧（路盤、アスファルト厚さ）



\* 1. 式(A - B = C)と 簡易図を黒板に記入すること

A = 既設路面から路床天端までの長さ  
 B = 既設路面から路盤天端までの長さ  
 C = 路盤厚